

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会

TEL:097-545-6594

FAX:097-554-4049

第125号

令和3年4・5・6月分交付金精算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和3年4・5・6月分の交付金確定単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、6月分の公表された交付金単価は交雑種については、26,485.2円・乳用種については、29,786.4円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和3年4・5・6月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

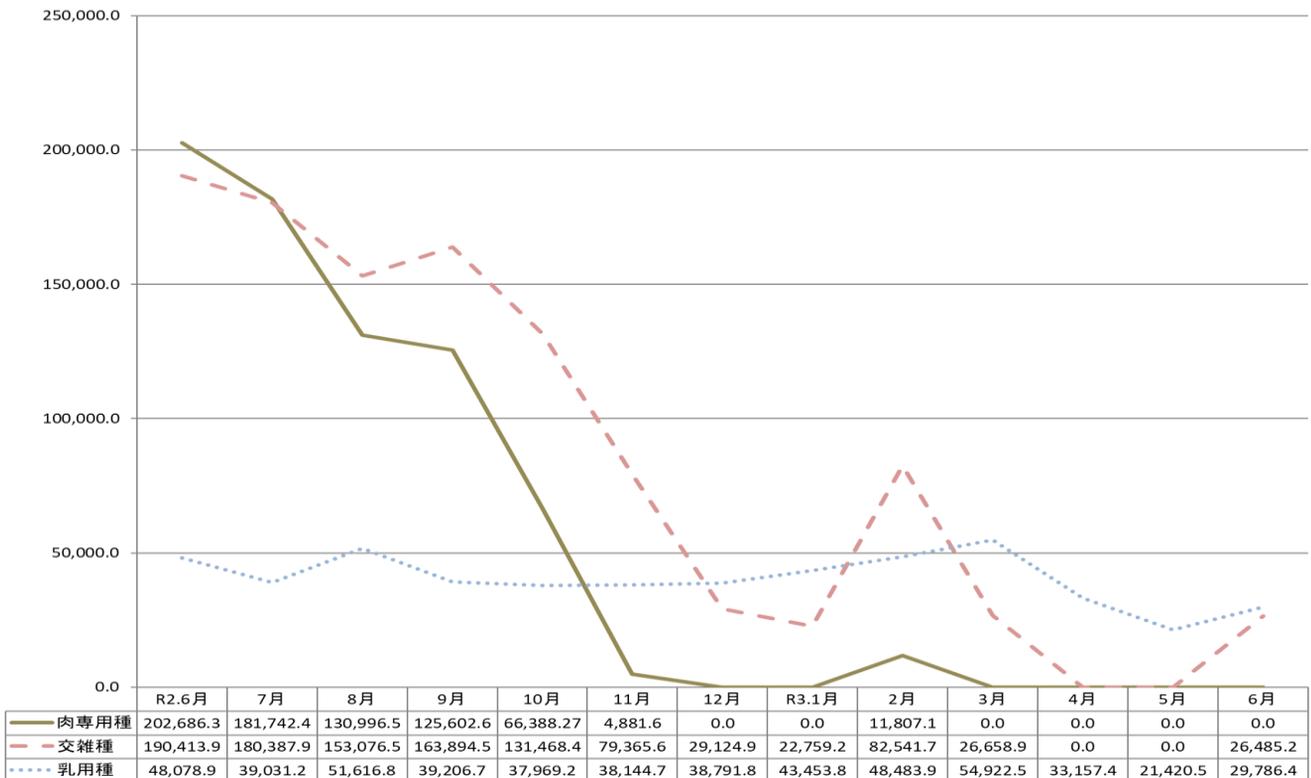
トピックス

●令和3年4・5・6月分の単価(精算払)が公表されました。

●4・5・6月分の交付金交付は、8月27日(金)を予定しております。

交付金発動状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

～牛は、末端不振で一段安～

7月の牛枝肉価格は、末端不振が顕著となり低調な推移を続けた。4度目の緊急事態宣言でさらに下げ進み、同じ等級でも高値と安値の格差が広がり、和牛去勢3等級が2,000円を割り込んだ。4連休前も引き合いは鈍く、けん引材料にはならなかった。

6月の牛枝肉価格は、前月に続き弱含みで推移した。和牛は去勢A5が前月比7円安の2,676円（前年同月比373円高）、同A4は10円安の2,399円（同521円高）、同A3は66円安の2,153円（同482円高）、同A2は119円高の1,925円（同420円高）。新型コロナウイルスの影響で暴落した前年実績を上回ったが、一昨年水準は下回った。

交雑牛はB4が29円安の1,774円（同372円高）、B3が103円安の1,578円（同378円高）、同B2は122円安の1,425円（同381円高）と下げ幅が大きかった。これまで和牛の代替需要で比較的堅調だったが、ここへきて引き合いの弱さが顕著となった。

一方、乳去勢は品薄感が続いていることからB2で2円高の1,087円（155円高）となり、C2も1,066円と高止まり。

GW以降、牛肉消費は低迷し、ホテル関係は「婚礼こそ昨年よりは動いているが、その他の宴会がほぼキャンセル。需要がない」（業務卸）ことから、ヒレが足りなくなる時期にもかかわらず潤沢な状況。オリンピック開催で大会や選手関係者の来日滞在で多少の需要回復が見込まれても通常期水準にはほど遠い。都内は酒類提供ができなくなり再び休業するケースも少なくない。

一方、小売は繰り返される緊急事態宣言に消費者の間には自粛疲れが広がる。好材料は海外市場向けくらいでアジア圏を中心に伸長を続ける。ただ、和牛肉保管在庫支援緊急対策事業で助成分を差し引いての価格で流通しているケースも少なくない。今後、助成額が縮小されること、また、助成終了後もしっかりマーケットを維持できるのか懸念も残る。

8月は和牛去A5で2,600円前後、A4で2,300～2,400円、A3で2,000円前後。交雑種は去勢B3で1,550円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌8月号 抜粋）